



令和5年度一般会計予算の概要

『コロナから豊かな持続発展へ』

～未来のまち、地域の多彩なかたちをつくる～



京都府京丹後市



アフターコロナを見据え、市民の命と健康、生活と事業を支援しつつ、令和6年度で活用期限を迎える合併特例債を効果的に活用していきます。同時に、令和6年度までの第2次京丹後市総合計画の「基本計画※」に掲げる4つの重点プロジェクトを柱とした事業を積極的に推進し、また、国の総合経済対策も活用しながら13か月予算として実施します。

(※以下、総合計画「基本計画」と表記)

コロナから豊かな持続発展へ ～未来へのまち、地域の多彩なかたちをつくる～

コロナ対策・物価高騰対策

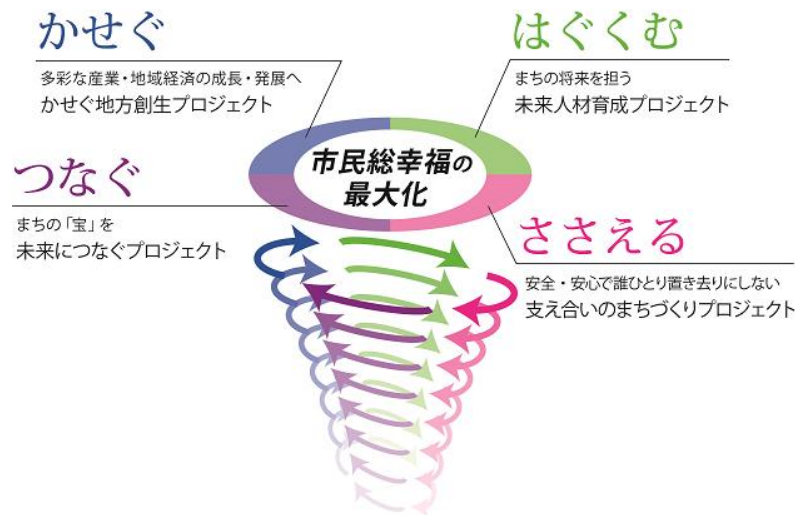
必要な感染症対策を講じつつ、“健康”と“生活”“生業”を全力で支える！

総合計画に基づくまちづくり

基本計画の4つの重点プロジェクトを推進！
SDGs、脱炭素社会、DXなどの取組を推進！

国の総合経済対策を活用

国の補正予算等を活用し、切れ目のない13か月予算として編成！





令和5年度予算案

373億6,000万円

R4 : 356億3,000万円
(対前年度比 17億3,000万円、4.9%増)

R3 : 353億2,000万円
(対前々年度比 20億4,000万円、5.8%増)

令和4年度3月補正予算案 計上事業

1億5,786万円

■国の第2次補正予算活用分

- ・小中学校新型コロナウイルス感染対策 991万円
- ・京都丹後鉄道安全輸送設備等 2,321万円
- ・道路橋梁改良 1億500万円
- ・ため池等整備負担金 819万円
- ・送迎用バス安全装置設置 1,155万円

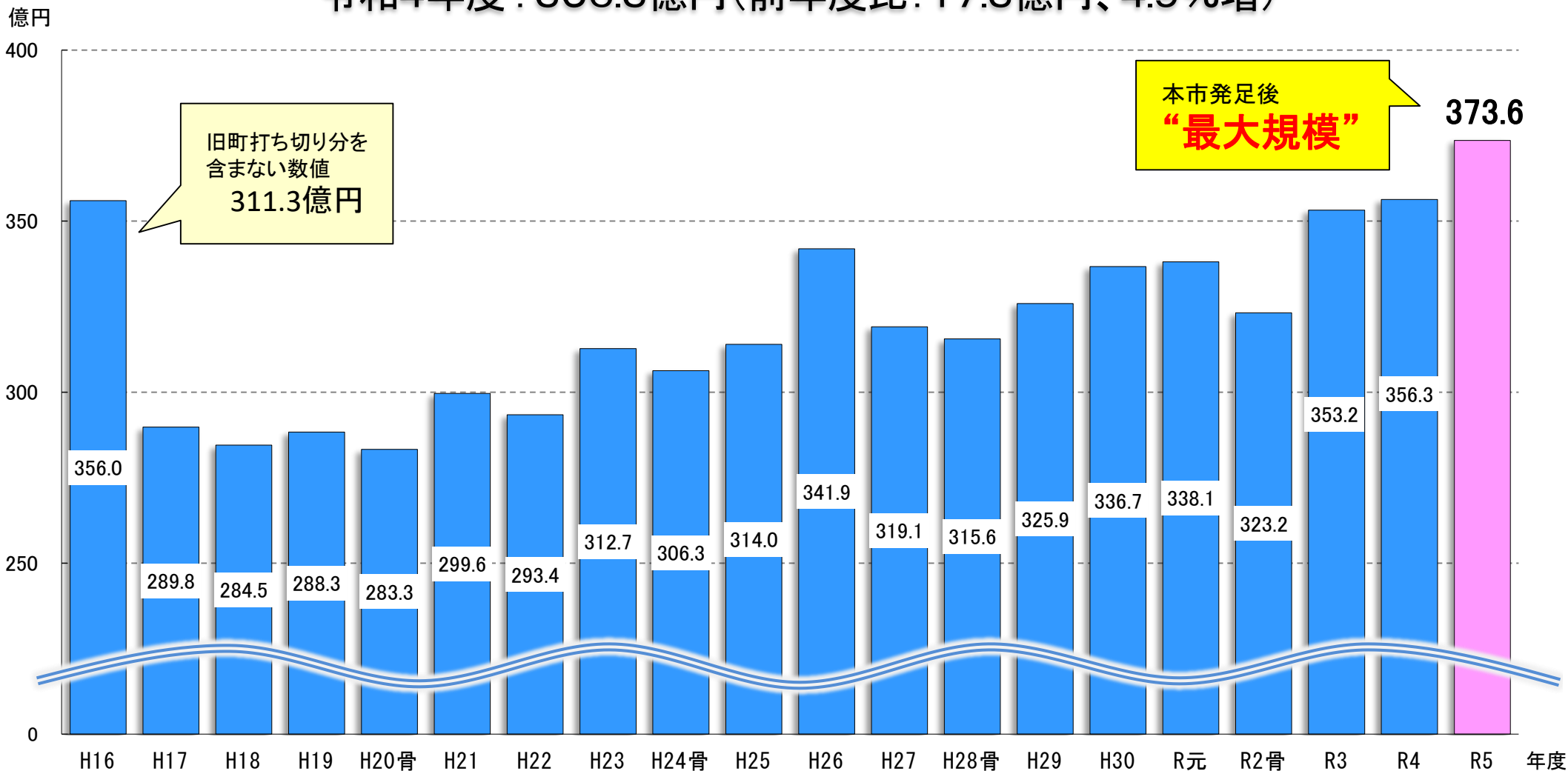
13か月予算

総額 375億1,786万円



令和5年度一般会計予算案 373.6億円

令和4年度 : 356.3億円(前年度比: 17.3億円、4.9%増)



※H16年度は合併に伴う旧町未払分の予算を含む

予算の特徴①

予算規模は引き続き本格的

- ①合併特例債の活用期限等を控え、教育や生活など未来へつなぐ各種のインフラ整備を逸せない
- ②物価高騰等により、施設の管理・維持経費が大幅増加 など

<例>

【教育分野】

	令和5年度	対前年度増加額
小学校施設改修 トイレ洋式化、空調設備等改修、グラウンド擁壁改修 など	2億8,584万円	(1億4,062万円増)
中学校施設改修 トイレ洋式化、体育館照明LED化 など	3億5,060万円	(3億3,200万円増)
網野学校給食センター施設整備	5億6,700万円	(5億1,725万円増)

【庁舎再編】

庁舎整備事業 庁舎増築棟、オフィス環境経費 など	4億2,445万円	(4億2,445万円増)
---------------------------------	-----------	--------------

【生活インフラ】

新最終処分場整備	3億3,912万円	(1億9,350万円増)
ごみ処理施設等維持管理 最終処分場(4か所)・衛生センター(3か所)・クリーンセンター	10億8,148万円	(1億1,761万円増)
市営住宅解体・改修工事等 松原団地解体、芋野・周枳団地改修 など	1億3,670万円	(2,506万円増)

【観光インフラ】

観光等指定管理施設大規模改修 道の駅てんきてんき丹後トイレ・休憩室改修工事など	1億5,273万円	(7,488万円増)
都市公園等維持整備 峰山総合公園トイレ改修、峰山途中ケ丘駐車場整備 など	1億 696万円	(3,828万円増)

【特別会計等繰出金】

水道事業会計繰出金等	7億2,870万円	(1億8,765万円増)
市立病院事業繰出金等	13億 500万円	(2,800万円増)
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	10億9,001万円	(3,869万円増)

※国民健康保険直営診療所事業特別会計(△1,748万円)と下水道事業会計(△1,500万円)への繰出金は減額となるが、増額となる主な項目を記載

【市有施設の光熱水費・燃料費】

光熱水費 一般会計全体(ごみ処理施設等を除く)	3億6,512万円	(6,839万円増)
燃料費 一般会計全体(ごみ処理施設等を除く)	1億3,209万円	(2,965万円増)

など

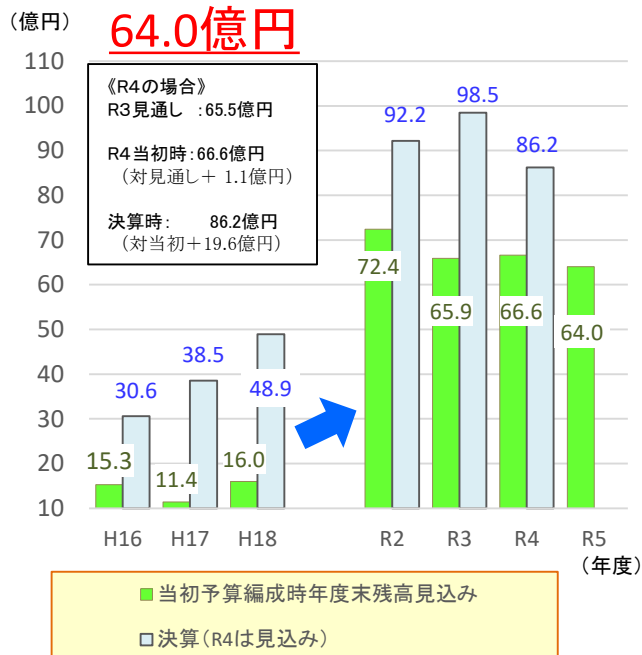
以上だけでも、計70億6,580万円(22億1,603万円増)

基金の維持配慮

財政調整基金は例年の同等以上の規模を確保！

基金総額の推移

令和5年度末現在高見込

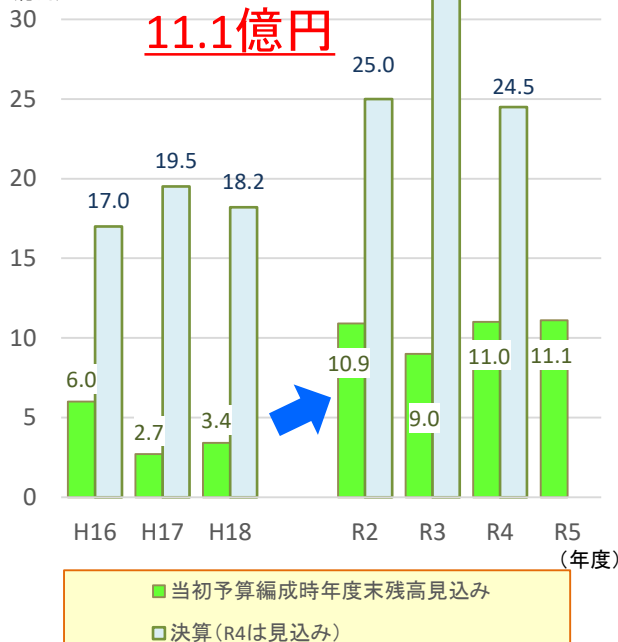


- ▶ 令和5年度末で合併時の4倍以上の64.0億円を確保
- ▶ 各年度当初予算の数値より決算時には多い現在高を確保

(当初予算時)	⇒	(決算時)
R2：72.4億円	⇒	92.2億円
R3：65.9億円	⇒	98.5億円
R4：66.6億円	⇒	86.2億円 (見込み)

財政調整基金の推移

令和5年度末現在高見込

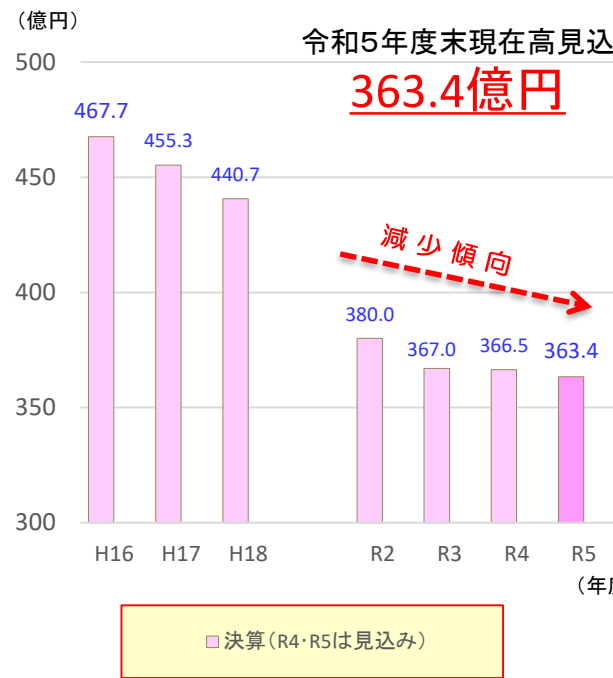


- ▶ 豊かな持続発展のため、財政出動が重要となる中、当初編成時では例年の同等以上の年度末現在高を確保
- ▶ 当初予算では、不確定財源の代替として財調基金により財源確保しているが年度内で復元努力

(当初予算時)	⇒	(決算時)
R2：10.9億円	⇒	25.0億円
R3：9.0億円	⇒	31.5億円
R4：11.0億円	⇒	24.5億円 (見込み)

市債現在高の抑制

市債現在高の推移



- ▶ 市債は、真に必要な事業をする上で貴重な財源で、合併特例債等の有利な市債を活用しつつ、現在高抑制にも配慮

(参考) 市債現在高の交付税算入割合

H16	55.7%
R4	77.8% (見込み)
R5	76.9% (見込み)

【コロナ対策・物価高騰対策】

コロナによる打撃と物価高騰から“健康”と“生活”“生業”を全力で支える！

● 必要なコロナ対策・支援を継続実施

福祉施設入所者のPCR検査を支援 240万円

新規で入所される利用者に対して法人が行うPCR検査費用を支援
【補助率：1/3 上限：2万円】

生活困窮者の家計改善を支援 678万円（重掲）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により拡充した生活福祉資金の特例貸付の償還が始まる方もある中、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計に関連する事業と連携することで、一貫した相談支援を実施

こども園等の新型コロナウイルス対策の支援等 806万円

こども園、保育所、子育て支援センター等の新型コロナウイルス感染症対策の実施・支援
※小学校・中学校は、令和4年度3月補正で計上

公共施設等の感染症対策用品等を購入 998万円

公共施設等の感染症対策用品購入及び、消毒用の次亜塩素酸水を公共施設へ配付

新型コロナウイルス関連情報の広報経費 66万円

新型コロナウイルス感染症関連の予防や支援策を新聞折り込みチラシなどで周知

消防団活動における新型コロナウイルス対策 43万円

消防団活動時の新型コロナウイルス対策物品（消毒液・マスクなど）を購入

新 新たな公共施設予約システムを導入 547万円 DX（重掲）

オンライン上で施設予約から決済まで完結可能なシステムを導入

● 物価高騰対策を中心に再生支援を実施

中小企業緊急雇用調整助成金を上乗せ補助 2,000万円

国の「雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金」と協調し助成を継続

新 機械金属業等の物価高騰対策支援 3,600万円（重掲）

物価高騰対策支援として、製造工程で必要となる工具類等の購入に係る費用の一部を補助
【補助率：2/3 上限：30万円 対象期間：4/1～12/31】

拡 京丹後デジタルポイントによる消費・生活支援 1,000万円 DX（重掲）

京丹後デジタルポイントに現金チャージ機能を追加（令和5年5月予定）し、1,000円チャージごとに100ポイントを付与し、市内における消費喚起とキャッシュレス化を促進

拡 ゼロゼロ融資の返済・借り換えの負担を軽減 7,600万円（重掲）

新 ◆ゼロゼロ融資対応利子補給 2,900万円

新型コロナウイルス感染症対策支援として、すでに借入を行っている国の無利子・無担保対象融資にかかる利子の一部を補助
【補給限度額：100万円 無利子期間終了後から36か月 補給率：0.23%】

拡 ◆新型コロナ対策利子補給（ゼロゼロ融資の借り換えにも対応） 1,700万円

無利子・無担保融資からの借り換えにも対応した事業資金融資に係る利子の一部を支援
【補給限度額：100万円 初回利子払い月から72か月（6年間）※36か月（3年間）拡大】

拡 ◆信用保証料補助金（ゼロゼロ融資の借り換えにも対応） 3,000万円

無利子・無担保融資からの借り換えなど京都府の「伴走支援型経営改善おうえん資金」の借入に係る保証料補助は、通常の制度融資とは別枠で支援
【補助率100% 1事業者あたり40万円を上限】

！ ゼロ予算 ⇒ 京丹後デジタルポイントの利活用拡大を検討

京丹後デジタルポイントと民間発行ポイントとの相互連携、公共施設使用料など各種公共料金への利用について検討

ふるさと納税
10倍プロジェクト

“ふるさとブランド”を積極PR
～地域社会・経済を元気に！～

ふるさと応援のためのシティプロモーションを推進 5,483万円

- ふるさと納税特設サイトの充実 **440万円**
(ふるさと納税を通じたシティプロモーションを展開するため、サイト内動画を制作)
- Web広告等によるPR(京丹後市特産品の魅力発信) **4,045万円**
京丹後ふるさとネットワークと連携したPRも実施
- PRグッズの作成(市外で開催されるイベント等でのPRに活用) **100万円**
- 総合パンフレットの作成(希望する寄附者へ送付し、リピーターを増やす) **898万円**

泉佐野市からの職員派遣受入を継続 257万円

ふるさと応援寄附金の先進自治体である泉佐野市から職員を受け入れ、ノウハウを学び、さらなる活力創造を目指す【期間：令和5年4月から令和5年6月、3か月間】

新 ふるさと産品創出支援事業補助金 2,000万円

ふるさと納税の返礼品となる新たなふるさと産品をクラウドファンディングを活用して創出しようとする事業者を支援【補助率：4/10】



人材確保・育成、雇用促進

人材確保・雇用促進を充実 438万円

市地域雇用促進協議会が実施する事業費の一部を負担

- 雇用促進、人材育成、研修事業(就職フェア開催、高校生職業体験実施等)
- 広報事業等(企業ガイドブック作成、協議会ホームページ運用等)
- 企業魅力向上事業(若者雇用機会創出事業)

新 はたらく女性が活躍できる職場環境整備を支援 200万円

機械金属業の現場で女性の従業員専用施設の整備を支援【補助率：1/2 上限：50万円】(令和5年度～令和7年度)

新 副業・兼業人材の活用 362万円

①副業・兼業人材活用補助金 **100万円**

京都府、京都北都信用金庫、商工会が実施する副業・兼業人材を活用しようとする市内事業所を支援【補助率：1/2 上限20万円】

②民間副業人材の活用 **262万円**

市外(都市部等)の民間企業等で働きながら、地方創生の仕事に関心を持ち、専門的なスキルや知識を持つ民間人材を対象に、民間企業等に籍を置いたまま、本市の仕事のリモートワークを活用し、週1回程度の副業で行う人材を活用(2人)

新 インターンシップ人材確保支援補助金 25万円

市内への移住・定住の促進及び中小企業における人材不足解消に資するため、インターンシップを受け入れる企業が負担した交通費等を支援【補助率：1/2 上限：10万円】

「特定地域づくり事業協同組合」の運営を支援 619万円

「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」による「特定地域づくり事業協同組合制度」に基づき、年間を通じた雇用環境を創出する事業を実施する団体を支援【補助率：1/2 上限：200万円(1人当たり)、300万円(事務局運営費)】

《参考》ふるさと応援寄附金をまちづくりに活用！

【にぎわいのふるさと応援】

- 地域ぐるみの観光地づくり事業 **3,000万円**
- ふるさとブランド推進事業 **3,000万円**
- 都市拠点等整備推進事業 **700万円**

【環境のふるさと応援】

- EVCステーション管理事業 **400万円**
- 峰山クリーンセンター管理運営事業 **1億4,000万円**

【健康と福祉のふるさと応援】

- 障害者就労支援事業 **600万円**
- 子育て支援医療事業 **6,000万円**

【未来を拓く子どもを育むふるさと応援】

- 保育所・こども園等の運営・支援 **3億2,700万円**
- 小・中学校1食200円給食事業 **3,000万円**

<特徴的な活用事業(金額は活用額)>



【市民協働と生涯学習のふるさと応援】

図書館の図書を充実 **500万円**

【安心のふるさと応援】

地域協働型小規模公共事業 **1億2,000万円**
交通安全施設修繕・設置工事 **2,000万円**

【コミュニティビジネス応援】

コミュニティビジネス応援補助金 **200万円**

商工業分野～経営支援・産地振興など～

拡 **ゼロゼロ融資の返済・借り換えの負担を軽減** 7,600万円 (重掲)

新 ◆ **ゼロゼロ融資対応利子補給** 2,900万円
 新型コロナウイルス感染症対策支援として、すでに借入を行っている国の無利子・無担保対象融資にかかる利子の一部を補助
 【補給限度額：100万円 無利子期間終了後から36か月 補給率：0.23%】

拡 ◆ **新型コロナ対策利子補給(ゼロゼロ融資の借り換えにも対応)** 1,700万円
 無利子・無担保融資からの借り換えにも対応した事業資金融資に係る利子の一部を支援
 【補給限度額：100万円 初回利子払いから72か月(6年間)※36か月(3年間)拡大】

拡 ◆ **信用保証料補助金(ゼロゼロ融資の借り換えにも対応)** 3,000万円
 無利子・無担保融資からの借り換えなど京都府の「伴走支援型経営改善おうえん資金」の借入に係る保証料補助は、通常の制度融資とは別枠で支援
 【補助率100%、1事業者あたり40万円を上限】

事業者×跡継ぎマッチング事業の実施 55万円

商工会、京都産業21と連携し、市内の事業継承ニーズを掘り起こすとともに二ホン継業バンクを活用した継業人材の募集・マッチングを実施

製造・加工業経営革新等推進事業補助金 1,500万円 (重掲)

織物業や機械金属業等製造・加工業における経営力向上のための設備投資を支援
 【補助率：1/3 上限：250万円】

新 **機械金属業等の物価高騰対策支援** 3,600万円 (重掲)

物価高騰対策支援として、製造工程で必要となる工具類等の購入に係る費用の一部を補助
 【補助率：2/3 上限：30万円 対象期間：4/1～12/31】

機械金属業販路開拓等事業費補助金 500万円

丹後機械工業協同組合の異業種交流事業、新分野開拓推進事業、未来創造研究事業等を支援
 【補助率：2/3】

新シルク産業創造事業の推進 2,165万円

・新シルク創造館を拠点としたシルクを活用したビジネスモデルの構築及びシルク関連産業事業者が行う大学等との共同による製品開発、人材育成に係る事業を支援
 ・養父市及び業界団体等と連携して、シルクを活用した産業振興やまちづくりに向けた共同研究を実施(新シルク産業創造研究会)

異業種交流ビジネス支援補助金 133万円

織物業と機械金属業が協力し、先端技術を活用した新しい織物と織機の開発を進めるための既存織機の分析、部品の図面化、素材研究等の取組を支援【補助率：2/3】

商工業支援補助金 500万円

市内の中小企業者が主体的に行う新たなチャレンジを支援。新商品の開発、販路開拓、知的財産権の取得、事業承継、SDGsの取組や複数事業者が連携して取組む新商品・新サービスの開発を支援【補助率：1/2】

! **ゼロ予算** → **インボイス制度スタートに向けて事業者を支援**
 京丹後市商工会が実施するセミナーを支援

! **ゼロ予算** → **産業連関表を作成**
 福知山公立大学と協力し、京丹後市産業連関表を作成

企業立地支援事業 2,001万円

- ・企業立地助成金(対象指定事業所 3社) 700万円
- ・企業立地奨励金(対象指定事業所 10社) 881万円
- ・企業移転移住支援金 420万円



拡 **タンゴオープンセンター、タンゴオープンヴィレッジ事業の推進** 220万円

- ・タンゴオープンヴィレッジ構想基本計画支援補助金 50万円
 丹後織物工業組合が掲げる「タンゴオープンヴィレッジ構想」をより具体化し、円滑に計画を進めることを目的とした関係業界団体を構成員とする組織体の運営と基本計画作成を支援【対象事業費：100万円】
- ・丹後織物産地振興事業費補助金 170万円
 丹後織物工業組合が実施するタンゴオープンセンター事業をはじめ、販路開拓・人材育成・技術継承等の織物振興施策について、京都府・与謝野町と協調し支援【総事業費 1,000万円 負担割合：組合1/4、京都府1/2、市・与謝野町1/4】

拡 **大阪・関西万博などとの連携を推進** 508万円 (重掲)

- ◆ **オープンファクトリー環境整備を支援**
 工場などに観光客や視察などの受け入れを支援【補助率：1/2 上限：50万円】
- 新** ◆ **オープンファクトリー実施事業者を養成**
 大阪・関西万博に向けて、市内ものづくり事業者による満足度の高いオープンファクトリーが地域一体で実施されるよう、事業者の養成プログラムを実施
- 新** ◆ **「(仮称)京丹後市大阪・関西万博推進協議会」の設置**
 民間主導によるロードマップや具体的な取組に向けた計画を策定

! **ゼロ予算** → **インバウンドを呼び込む「学べる観光プログラム・メニュー」づくりの検討**
 京丹後市の歴史・文化・産業・環境・SDGsなど、広く市内の資源を活用

観光分野～住んでよし、訪れてよしの観光立市を目指して～

拡 市観光公社の活動を支援 1億 950万円

- ◆ヘルスツーリズム・グリーンベルトのコンテンツ開発
市観光公社が行うヘルスツーリズム・グリーンベルト事業の取組を支援
- ◆フィルムブランドプロモーションの推進
アーカイブページの創設などフィルムコミッションコンテンツの充実
- ◆首都圏・関西圏への観光プロモーション・マーケティングの充実
四季ごとに関西主要駅でのデジタルサイネージや府南部域用情報紙への掲載などを活用し、都市部での観光プロモーションなどを充実
- ◆インバウンド観光客誘致
インバウンド誘客促進に向けたファミツアーの実施など

地域活性化起業人制度 2,000万円

総務省「地域活性化起業人制度」（1企業最長3年）を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手企業の社員を受け入れる（受入社員 2人）

新 滞在観光地づくり「宿泊プラス1」造成支援補助金を創設 100万円

- 宿泊事業者が異業種と連携し、通常の宿泊プランにひと工夫加えた新たな宿泊プランの造成を支援
- ・補助対象者：市内宿泊事業者
 - ・補助上限率：10万円（補助率2/3）

新 地域おこし協力隊 404万円

地域外の人材を誘致し、地域力の維持・強化を図る（かぶと山虹の家に1人配置）

友好都市京丹後へ行こう！フレンドシップキャンペーン実施 100万円

平成20年に締結した「京丹後市と木津川市との間の友好都市提携に関する盟約書」に基づく、旅館等における宿泊割引事業を実施
（R5.6～R6.3 先着500人 1回につき2,000円/人を上限に補助）

ユネスコ世界ジオパーク推進事業 1,104万円

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、教育や産業振興への活用とともに、「ジオツーリズム」を推進

日本一の砂浜海岸づくり 1,603万円

- ・ワンハンドビーチ事業（海水浴場に通りがかった人が手にもてる程度のごみを回収）の実施等、砂浜海岸を保全
- ・安全安心な海水浴場の開設を支援（海水浴場情報配信システムの運用や連絡員業務等を支援）

拡 トイレ等海浜施設の整備 7,841万円

- ・10か所の海水浴場トイレを洋式化
- ・琴引浜海水浴場に公衆トイレを新築整備

! ゼロ予算 → 浅茂川温泉施設の活用を検討

浅茂川温泉「静の里」の今後の活用を検討

滞在型スポーツ観光の振興

ワールドマスターズゲームズ関西の推進 252万円（重掲）

- 2027年（令和9年）5月に開催予定のワールドマスターズゲームズ関西（WMG）関連事業【WMG関連大会の概要】
- SUPジャパンオープン：4月15日・16日（予定）
 - 全日本カヌーマラソン選手権大会：5月12日～14日（予定）
 - 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会：8月6日（予定）

ジオパークの魅力を活かした各種スポーツイベント 549万円

- 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会：8月6日（予定）
- 丹後100kmウルトラマラソン大会：9月17日（予定）
- 丹後大学駅伝：11月18日（予定）
- 久美浜湾一周駅伝競走大会：11月23日（予定）
- 全国高等学校カヌー長距離選手権大会：3月16日・17日（予定）
- パラスポーツ講習会・体験会

観光業等活性化推進事業補助金 184万円

- 大会関係者の市内宿泊人数に応じて補助金を交付
- ①100～500人未満：8万円以内
 - ②500～1,000人未満：24万円以内
 - ③1,000～2,000人未満：40万円以内
 - ④2,000人以上：56万円以内

デジタル化を活かした循環型商業～拡大循環～

自然あふれるビジネスモデルの推進 1,702万円 (一部重掲)

市内事業者で構築するコンソーシアムを中心に、ワーケーション・企業向け研修プログラムの推進、都市部プロモーション業務及び企業や人材を誘致

- ◆コーディネート業務
- ◆ふるさとテレワーク推進事業補助金
 - テレワーク環境の整備及びサテライトオフィスの設置・運営を支援
 - ・テレワーク環境整備事業
補助率：1/2以内、上限50万円
 - ・サテライトオフィス設置事業
補助率：1/2以内、上限50万円
 - ・サテライトオフィス運営事業
補助率：1/2以内、上限4万円/月 ※最長3年



拡 京丹後デジタルポイントによる消費・生活支援 1,000万円 DX (重掲)

京丹後デジタルポイントに現金チャージ機能(令和5年5月予定)を追加し、1,000円チャージごとに100ポイントを付与し、市内における消費喚起とキャッシュレス化を促進

水産業・海業分野～新たな取組でさらなる発展を～

拡 ウニの陸上養殖試験、海藻類活用の取組を支援 200万円

間人漁港におけるウニの陸上養殖試験、長寿の源とも考えられている「海藻類」の加工品製造及び販路拡大等の取組を支援

新 新たな「海業」の取組を積極支援 300万円

ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地づくり」を積極支援(シーカヤックの体制整備、スキューバダイビング実施調査など)
【補助率：2/3 上限：100万円】

農林業分野～産地のパワーアップ、魅力の発信～

有害鳥獣対策を実施 8,523万円

通常捕獲や有害鳥獣防除施設費補助金に加え、超音波忌避装置(シカ・イノシシ対策)の効果検証及びGPS(位置情報システム)を活用したサル対策を継続して実施

新 果樹産地としての生産基盤を強化 546万円 (重掲)

京のブランド産品としても名高い「京たんご梨」をはじめとする果樹産地としての生産基盤を強化

- ・地域おこし協力隊員(果樹の新たな担い手としての就農を期待)
- ・果樹研修チャレンジ支援事業補助金(研修生受け入れ農家及び研修生を支援)
- ・果樹農家営農支援補助金(果樹棚の設置等を支援)

新 京丹後食のふるさとを創造 759万円

本市の強みである“食の魅力”に磨きをかけ、京丹後市内外の料理人が協調して全国に「京丹後食のふるさと」を創造・発信



地域農業ブランドを推進 1,532万円 (一部重掲)

市内農産物の生産強化・産地の維持拡大及び流通販売の取組等を支援し、需要拡大・販路拡大を促進
「京丹後市みどりの農産品認定委員会」で指標を定め、京丹後産農産物のブランド化を図る

新 和牛振興を支援 100万円 (重掲)

肉用牛の飼育拡大や販路拡大、肉の加工品開発を支援

生物多様性を育む農業を普及推進 958万円

地球温暖化防止や生物多様性保全など、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援し、環境保全型農業を普及推進

丹後王国展望台等跡地の活用 1,540万円

前年に解体した丹後王国展望台等跡地の新たな活用に向けた基本計画・基本設計を実施
(予定) 令和5年度：基本計画・基本設計 令和6年度：実施設計、整備工事

集落連携100ha農場づくり事業 1,175万円

単一集落の範囲を超えた大規模で効率的な共同活動によって営農体制及び農地管理体制の強化を支援(対象：大宮町広域協定運営委員会(11地区))

! **ゼロ予算** → **京丹後市オーナー田制度を試行的実施**

京丹後市内の水田を耕作意欲のある都市住民にオーナーになってもらい、農作業を通じて、都市農村交流を図る

未来を取り込む教育の推進

「ふるさとの愛着と誇りを持ち新しい価値を創り出す力を育む教育」
「心豊かにたくましく幸福な未来を切り拓く力を育む教育」を目指して！

拡 **グローバル人材の育成 1,116万円** (一部重掲)

国際感覚を持ち、将来グローバル社会で活躍できる人材の育成を図る

〔対象：小学校3・4年生〕

◆Kyotango English Day：CIR、ALTと英語による交流会

〔対象：小学校5・6年生〕

◆Kyotango English Camp：CIR、ALT等と英語による交流会（1泊2日）

〔対象：中学校1年生〕

◆オンライン留学：外国とのオンライン交流を開催

〔対象：中学校2年生〕

◆中学生の海外派遣：海外の一般家庭での生活や学校生活を体験（15人）

派遣先：ニュープリマス市（ニュージーランド）

〔対象：中学校〕

◆英語力向上アプリの導入 **新** 令和5年度から中学1・3年生にも導入

Allによる英語力向上アプリを市内中学生のタブレットに導入

「英語の力」を伸ばし、英語に自信をもてる生徒を育成


「Kyotango Sea Labo」の開催 540万円

本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を専門機関（海外の大学を含む）と連携し実施（R4～R6の3か年事業）

※STEAM教育とは・・・科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Art）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念

! **ゼロ予算** ⇒ **プログラミング教育の継続実践** **DX**

i情報経営イノベーション専門職大学と連携し、令和4年度に中学生を対象に実施したプログラミング教育を継続実践

新 **（仮称）新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会 114万円**

Society5.0など新たな時代潮流に対応した教育・人材育成の在り方を検討するとともに次期教育振興計画、教育大綱の検討につなげる

拡 **丹後学を充実～新たなモデルカリキュラムの実践～ 441万円**

SDGsの視点等を加えた「丹後学」に改訂した新たなモデルカリキュラムを令和5年度から活用。地域の「人・環境・文化・産業」をテーマにより主体的で探究な学びへと拡充。総合的な学習の時間を核として系統的に積み重ねる実践、成果を基盤としながら、郷土への愛着と誇りを育て、自己の生き方・あり方を考える丹後学の実現へ

新 **小・中学校1食200円給食の実施 5,136万円** (重掲)

保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援

・小学校給食材料費支援 **2,840万円**、中学校給食材料費支援 **2,296万円**

定住促進のための奨学金返還支援制度 4,138万円 (重掲)

U・Iターン者の奨学金返済を支援（最大、月3万円、年間36万円を10年間）

R3認定者：140人、R4認定見込：51人

! **ゼロ予算** ⇒ **奨学金返還制度の普及・促進**

様々な分野のシティプロモーション事業等と連携して、広く制度を周知・普及

学びの環境を整備

新 **網野学校給食センターを整備 5億6,700万円**

旧郷小学校グラウンドに新たに網野町域の学校給食センターを整備（継続費 18億円）
※厨房機器購入の債務負担行為3億2,100万円も設定

小・中学校のトイレ洋式化 8,650万円 (重掲)

- ・丹後小 **2,530万円**
- ・丹後中、久美浜中 **5,370万円**
- ・（設計のみ）峰山中、大宮中、網野中 **750万円**

拡 **小・中学校の体育館照明のLED化 2億8,890万円** (重掲)

- ・全中学校体育館LED化工事 **2億8,530万円**
- ・小学校体育館（久美浜小、高龍小、かぶと山）LED化設計業務 **360万円**

拡 **小学校の空調設備の改修 1億7,780万円**

- ・大宮第一小空調設備等改修 **1億7,670万円**
- ・網野北小ことばの教室エアコン取替 **80万円**
- ・橘小給食配膳室エアコン取付 **30万円**

多彩な未来人材の受け入れを充実

拡 地域おこし協力隊を積極配置 6,076万円 (一部重掲)

【継続】町域に各1人、地域コミュニティ推進2人、観光振興1人、3つの高校に各1人(12人)
 【新規】地域コミュニティ推進4人、空家コンシェルジュ1人、果樹農家担い手1人(6人)

ふ ふるさと創生職員を任用 7,482万円

U・Iターンの活性化につなげるため、任期付短時間勤務職員「ふるさと創生職員」を任用
 (3年間、週3～4日勤務)
 【R5採用予定人数】5人(R2～4年度採用：14人)

移 移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等 977万円

京丹後市移住支援センターによる相談対応、情報収集・発信等を実施
 移住スカウトサービス「SMOUT」における情報発信

新 空家コンシェルジュ(相談窓口)を新設 393万円

空家相談窓口を設置し、専門家や地区と連携した相談体制を構築するとともに、空家情報バンクを運営。空家流通を促進するコンシェルジュは、地域おこし協力隊(委託型)を任用予定

! ゼロ予算 → 空家の放置解消に向け固定資産税の減免制度を検討

空家を除去することで、その跡地の活用を促進し居住環境の整備・地域の振興を図るため、除去後の土地に係る固定資産税の減免を検討

拡 移住促進・空家改修への支援を充実 3,272万円

- ・移住促進・空家改修支援事業費補助金 1,915万円
 移住者の空家改修等を支援【補助率：10/10】
 【例】住宅整備：230万円、空家改修：140万円 など
- ・結婚新生活支援補助金 762万円
 新婚世帯へ住宅購入や引越費用等を支援【補助率：10/10 上限：18～60万円】
- ・多子世帯・三世帯同居・近居支援補助金 490万円
 【補助率：10/10 上限：5～100万円】
- ・若者Uターン住宅取得等応援補助金 105万円
 【補助率：1/2 上限：15～30万円】

従 従業員企業移転移住支援金 420万円

従業員等を3人以上伴い移転してきた事業所に支援金を交付
 【1社あたり300万円に加え、移住社員1人あたり40万円】

教職員の働き方改革を推進

ICT 支援員の配置 1,052万円

ICT機器を活用した効果的な授業を行うためのサポートを行うなど、学校のICT化を推進する支援員を配置(4人)

新 中学校テスト採点補助システムの導入 33万円 (重掲)

テストの採点を効率化するため、峰山中、大宮中、網野中の3校に導入

新 PBL型業務改善コンサルティングの導入 247万円

学校現場におけるPBL(問題解決)型の業務改善を進めるため、専門的なコンサルティングを受けることにより学校における働き方改革を推進(峰山中をモデル校として実施)

新 部活動の地域移行に関する検討 20万円

休日の部活動の段階的な地域移行を図るため、市立中学校の今後の部活動のあり方を含めた関係者による検討の場を設定し、具体的な取組等を検討

拡 業務効率化に向けた機器の導入 390万円

高速カラーインクジェットプリンター(大宮第一小学校)
 留守番機能付き電話設備及び転送先携帯電話の導入(小学校6校) など

起業家・スタートアップ企業等の育成・成長支援

ICT × 地方創生甲子園を開催 148万円

全国の高校生を対象に、本市の地域資源を活用した新たなビジネスプランを募集しコンテストを開催

- ・グランプリ賞金(みらいのジュエタロー賞) 10万円

京丹後発! JAPAN CHALLENGER AWARD 2023を開催 168万円

地域の課題を解決するためのビジネスアイデアを全国公募し、ビジネスプランとして磨き上げコンテストを開催

- ・グランプリ賞金(松本重太郎賞) 30万円

起業家等 を伴走支援 35万円

「ICT×地方創生甲子園」「京丹後発! JAPAN CHALLENGER AWARD2023」で提案されたビジネスプランを応援したい企業や投資家等とのマッチングなど創業に至るまでの支援を実施

切れ目のない支援、産前・産後のサポートを拡充

不妊・不育症治療費を助成 463万円

不妊・不育症治療に要する費用の一部と不妊治療の通院交通費の一部を助成
【補助率：1/2、10/10 上限：6万円、10万円】

拡 妊産婦健康診査・乳幼児健康診査等の充実 3,833万円

妊婦・産婦の健康診査等をはじめ、乳幼児の健康診査やむし歯予防、離乳食支援など、妊産婦の健康づくりと子どもの健やかな成長発達を支援
※令和5年度から住民税非課税世帯等の妊婦に対して初回産科受診料を助成

新 伴走型相談支援、出産・子育て応援給付金 3,127万円

・伴走型相談（妊娠届出時、妊娠8か月前後、出生届出後に面談を実施）を充実
・妊娠届出時の面談後に、出産応援給付金（5万円）を支給
・出生届出後の面談後に、子育て応援給付金（5万円）を支給

拡 産後ケアの無償化 125万円

産後1年までの母子に対して、産後ケアとして、心身のケアや育児サポートなどのきめ細かい支援（宿泊型・デイサービス型）を実施 ※令和5年度から自己負担額を免除
※利用前のPCR検査・抗原検査費用を全額支援

子育て世代包括支援センター「はぐはぐ」の運営 57万円

妊娠、出産、子育てに関する「困った」「不安」「しんどい」などの悩みの「ワンストップ相談窓口」として「はぐはぐ」を運営

男性の育児休暇取得を促進 38万円 （一部重掲）

ワークショップの開催、ハンドブックの配付
父親向け「育休HANDBOOK」活用セミナー（2回）、事業所向け育休取得促進セミナー

市内8か所で子育て支援センターを運営 3,556万円

親子が集まる場所（ひろば）を開設し、親子や妊婦の方が気軽に集い、交流を図るとともに、育児不安などの相談、指導により、家庭で子育てをしている保護者の育児を支援

はは笑みプロジェクト 3万円

笑顔あふれる子育て環境を目指し、令和2年8月から実施している「子育てWeb懇談会」を引き続き実施（年2回開催予定）

ファミリー・サポート・センター事業 10万円

会員間で援助し合うことにより、安心して子育てができる環境づくりを推進
おねがい会員36人、まかせて会員17人、両方会員1人

子育て環境整備応援プロジェクト補助金 600万円

市内で行われる子育て支援に関する活動等を支援
【補助率：2/3、10/10 上限：10万円～100万円】

保育所・こども園使用済み紙おむつ処分費用 35万円

園児の使用済み紙おむつについて、公費で処分

産前・産後サポートを拡充

新 発達支援相談室を開設 500万円

子どもの発達や成長に不安を抱える家庭が、不安や悩みを相談できる窓口として、児童発達相談支援事業所に委託し、子どもの健やかな成長をサポート

新 ヤングケアラーコーディネーターの設置 338万円

コーディネーターを配置し、市内での実態調査を行うとともに、対象者の掘り起こし、ヤングケアラー当事者や家族などからの相談対応、関係機関との連携・調整等、個別ケースへの支援

拡 保育料、第3子以降原則完全無償化【歳入】

全ての保護者に対して、同一世帯の第3子の保育料を原則無償化。

新 小・中学校1食200円給食の実施 5,136万円（重掲）

保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校の給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援

拡 教育支援センター「麦わら」の運営体制の充実 1,502万円

指導員を増員（5人→6人）し、学校での「別室登校」の支援や自宅等へ出向くアウトリーチ型の訪問支援を充実させ、通いたくても通えない児童生徒に対する多様なニーズに対応

病後児保育 299万円

満6か月以上の乳幼児又は小学校就学児童で病気の回復期の方を対象に一時的な保育を受入

市内11か所で放課後児童クラブを運営 2億7,623万円

放課後、長期休業期、土・日曜日などに適切な保育が受けられない小学校児童に対し、遊びや生活の場を提供 ※峰山放課後児童クラブは、日曜日・祝日も開設

ろう学校児童の通学支援 755万円

ろう学校への通学児童への同行支援

ひとり親家庭対策総合支援事業 290万円

ひとり親家庭の母又は父が、就職に有利な資格取得、職業能力開発の取組及び高等学校卒業程度認定試験の合格のための講座等の受講を支援

子育て支援医療給付費 1億6,139万円

乳幼児から18歳年度末までの子どもと市民税非課税世帯に扶養される22歳までの大学生等に係る医療費の自己負担額の一部を助成する。
※自己負担額は、1医療機関ごとに月200円

ひとり親家庭医療事業 3,887万円

ひとり親（母子及び父子）家庭において、18歳年度末（大学等に在学中の場合、22歳年度末）までの子どもとその保護者の医療費の自己負担金を助成

定住促進のための奨学金返還支援制度 4,138万円（重掲）

U・Iターン者の奨学金返済を支援（最大月3万円、年間36万円を10年間）
R3認定者：140人、R4認定見込：51人

！ゼロ予算 → 奨学金返還制度の普及・促進

妊娠・出産

未就園児

就園児・小中学生

高校・大学生他

「百才活力社会づくり」の推進・充実

高齢者の外出支援 413万円

高齢者（満75歳以上）の通常外出支援及び公共交通機関の利用促進、交通空白地の解消を図るため、2種類タクシードライバーチケット販売の実証実験（販売期間：4/1～3/31）

拡 高齢運転者等安全安心の支援 378万円

- ①安全運転継続支援 18万円
65歳以上の運転免許証保有者を対象に、運転技術の低下などをチェック
- ②運転免許証自主返納支援 360万円
公共交通機関等のクーポン券（2万円分）等を支援、支援品に自転車用ヘルメットを新たに追加

百才活力社会の推進 114万円

- ①“働くシニア応援プロジェクト”の実施 67万円
シルバー人材センター等の関係機関と連携し、高齢者の就業機会の確保による企業等の人材不足の解消、地域活動への参画等を促進
- ②百寿人生のレシピ集の増刷 47万円

新 高齢者フレイル予防のための歯科健診を実施 333万円

75歳以上の後期高齢者の歯科健診を追加し、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防

拡 高齢者のインフルエンザワクチン接種支援の充実 5,097万円

生活保護世帯に加え、住民税非課税世帯のインフルエンザワクチン接種の自己負担を免除（事前申請制）



まんぐるわ 三重・森本



～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ（第4版）

誰ひとり置き去りにしない共生社会の実現へ

拡 重層的支援体制への移行準備 2,413万円

重層的支援体制整備事業への移行を目指し、学識者を含めた「京丹後市重層的支援体制検討会」を設置し、京丹後市が描く「真の地域共生社会」を目指した事業実施体制を検討するとともに、地域共生ステーションによる地域づくりを機能強化し、福祉の総合的な地域課題の相談から個別の相談に対応できる体制を整備

- ◆ 京丹後市重層的支援体制検討会の設置
- ◆ 地域共生推進委託事業【地域共生ステーション】を市社協へ委託
令和4年度：弥栄、久美浜
新 令和5年度：弥栄、久美浜、網野、丹後（2か所新たに追加）

生活困窮者の家計改善を支援 678万円（重掲）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により拡充した生活福祉資金の特例貸付の償還が始まる方もある中、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計に関連する事業と連携することで、一貫した相談支援を実施

拡 「クリエイティブショップくりくり」の運営支援 750万円

障害者施設製品の常設販売店の製品の販売促進や運営を支援

精神障害者家族支援・心のサポーター養成 10万円

- ・精神障害者とその家族の支援について、市内関係事業所職員を対象に研修会を実施
- ・保健師等の専門職を対象に「心のサポーター」実施指導者研修を受講

障害者グループホームの整備を支援 1,500万円

地域移行推進のため、グループホームの整備に取り組む法人を支援
【補助率：1/2 上限：500万円】

障害のある方の日常生活等を支援 1億6,343万円

障害児通学支援、福祉タクシー利用料・ガソリン費用助成、福祉機器等購入助成など

新 難聴高齢者補聴器購入を支援 100万円

補装具費支給制度における補聴器の対象とならない中等度の難聴高齢者（65歳以上）で、市民税非課税世帯・生活保護世帯の方に対し、購入費用の一部を支援
【補助率：1/2 上限：2万円】

拡 男女共同参画社会の推進 200万円

- ・男女共同参画セミナーの開催、女性相談（年間12回開催予定）などを実施
- ・ジェンダーギャップの解消を目指して、中高生と保護者、教職員を対象にした講演会の実施
- 新** 女子中高生を対象にWeb制作・プログラミング講座を実施

地域コミュニティ分野～ひと、まち ともに成長～

「新たな地域コミュニティ」の組織づくりを支援 2,377万円

持続可能な地域づくりを進めるため、より柔軟に課題解決や地域振興に取り組む。

- ・新たな地域コミュニティ設立支援事業補助金 **1,160万円**
 - ①調査研究・組織設立推進事業（10組織） **200万円**
 - ②活動・運営事業（11組織） **960万円**
- ・地域コミュニティ組織の活動を支援（地域コミュニティ活動交付金）（4組織） **789万円**
- ・地域マネージャーの配置（10組織） **428万円**

取組の事例



地域防災



地域資源の保全・活用



買い物など生活支援



子育て環境づくり

「ローカルX(エクス)プロジェクト」を推進 485万円

地域を担う人材育成や地域でかせぐ事業づくりを推進するため、若者や女性が参画しやすく地域活動が活性化する仕組みづくりなどをコーディネート

協同労働の推進 267万円

専門的な知見を持つコーディネーターを委託設置し、協同労働の推進に向けた仲間づくり、組織づくり、事業計画の策定などを支援するほか、協同労働に取り組もうとする団体を支援

コミュニティビジネス応援補助金 200万円

ビジネス手法を取り入れて地域課題を解決する取組を支援
【補助率：2/3（個人1/4） 上限：100万円】

市民力活性化支援事業補助金 120万円

地域の活力向上や課題解決に取り組む団体などを支援【補助率：2/3 上限：30万円】

新 **「（仮称）網野交流センター・交流広場」の整備に向けた検討推進**（重掲）
網野庁舎跡地を活用した地域拠点の整備に向け、基本計画を策定 **1,394万円**

新 **宇川アクティブライフハウス改築基本計画を検討推進 500万円**（重掲）
地域のコミュニティ施設（宇川アクティブライフハウス）として利用している旧下宇川保育所について、地域振興の拠点施設として改築するための基本計画を策定

地域包括医療・ケア体制の充実

介護資格取得費用を支援 336万円

法人及び個人向けに資格取得を支援【対象研修】介護職員初任者研修、介護職員実務者研修

介護福祉士養成奨学金貸与事業 120万円

市の福祉体制の充実を図るため、本市域の福祉施設において介護福祉士として従事しようとする意思を有する者に対して奨学金を貸与（月額5万円、最大2年間）

医療提供体制の確保 7,456万円

公的病院等の運営を支援、休日応急診療体制の確保等

拡 **市立病院の運営を支援 13億 500万円**

弥栄病院：6億9,279万円 久美浜病院：6億1,221万円

新 久美浜病院改築整備に向けた基本構想策定（病院事業会計）

市立診療所の運営を支援 9,040万円

大宮診療所、間人診療所、宇川診療所など6つの診療所の運営を支援



弥栄病院



久美浜病院

市民生活インフラの積極・重点的整備!

「地域協働型小規模公共事業」の予算を増額配分し、市民に身近な道路等を重点整備

【地域協働型小規模公共事業】

1億2,000万円⇒1億4,500万円

※対象事業費の上限額を50万円から130万円に引き上げ(2.6倍)

【交通安全施設整備事業】

3,000万円(前年同額を計上)

対前年度比 2,500万円増

ふるさと応援基金
(ふるさと納税)を活用

項目	R5	R4	増減率
①地域協働型小規模公共事業	1億4,500万円	1億2,000万円	121%
②交通安全施設整備事業	3,000万円	3,000万円	100%
③市道維持補修事業(①・②除く)	1億922万円	1億524万円	104%
④道路橋梁新設改良事業	6億6,995万円	6億1,803万円	108%
⑤河川改修事業	639万円	3,990万円	16%
⑥河川維持補修事業	1億1,278万円	1億1,715万円	96%
合計	10億7,334万円	10億3,032万円	104%

※令和4年度3月補正:国の補正予算を活用し、1億500万円を計上

【ゼロ予算】→ 地区要望事業の実施促進策の検討

要望が特に多い道路事業を中心に、地区要望の取り方・返し方等も含め区長会と連携して事業実施促進策を検討

【新】新最終処分場の整備 3億3,912万円

最終処分場造成工事、浸出水処理施設整備工事

※継続費設定: R5~R7 総事業費 75億4,640万円

生活と命を守る防災施設の充実

【新】久美浜町域の防災行政無線施設の更新 2億2,300万円

久美浜町屋外拡声子局71局を2か年で更新(平成19年整備)

令和5年度:2億2,300万円

令和6年度:1億1,200万円 計3億3,500万円 ※継続費を設定

防災備蓄資材等避難所の環境整備 963万円(重掲)

災害用備蓄資材等の購入、避難所用Wi-fiの整備、プライベートルーム(80基)、屋外用テント(10基)など

自主防災組織の活動支援 243万円

地域住民が自主的に設立した防災組織の活動を支援

①防災資機材、②防災士資格取得経費、③タイムライン等作成経費

【補助率:1/2(①)、10/10(②・③) 上限:6万円(②・③)、8万円(①)】

消防団施設等の整備 3,144万円(重掲)

小型動力ポンプ付積載車(2台)、掛津消防車庫整備(設計委託)

京都市中・北部地域消防指令センターへの負担金 7,407万円

令和6年4月に運用開始の京都市中・北部地域指令業務の共同化に向け、高機能消防指令システムの構築及び消防指令センター庁舎の改修を実施

消防水利等の整備 3,200万円(重掲)

- 耐震性貯水槽新設工事 1基(弥栄町和田野地区)
- 消火栓設置工事 15基
- 消火栓ホース格納箱など消火栓備品更新

地域公共交通の確保と積極的な利用促進

【新】「(仮称)京丹後市公共交通活性化協議会」を開催 51万円

地域公共交通の課題解決や活性化など、持続可能な公共交通網の構築を目指して、市の地域公共交通計画を策定

地域バス路線の維持確保等 1億5,916万円

■地方バス路線の運行を支援 1億4,492万円

■市営バス運行による生活交通の維持・確保 1,424万円

京都丹後鉄道の利用促進 2億1,732万円

■京都丹後鉄道の運行を支援 1億5,066万円

■駅舎の管理 6,666万円

自然環境を次世代につなぐ美しいまちづくり 「2050ゼロカーボンシティ」の実現に向けて

美しいふるさとづくり審議会の開催 233万円

環境基本計画の進捗管理、地球温暖化対策実行計画の策定、また、市内での風力発電事業構想への対応を行う

地球温暖化対策実行計画の改定 362万円

地域脱炭素実現に施策、取組推進のための計画を改定

再エネゾーニング事業の実施 2,000万円

再エネ導入の推進に向けた、区域設定のための調査検討、地域住民等との合意形成を図る業務を委託し、ゾーニングの取組を進める（令和4年度からの継続事業）

脱炭素・資源循環促進支援補助金 400万円

- ①自給型発電システム 【1万円/kW 上限：10万円】
- ②蓄電池システム 【1万5千円/kW 上限：9万円】
- ③木質燃料利用システム 【5千円】
- ④再資源化システム（電気式生ごみ処理機）【1万円（定額）】
- ⑤住宅用太陽光発電と蓄電池システムとの新規同時導入 ※府補助金に①を上乗せ
【太陽光 1万円/kW 上限：4万円、蓄電池 1万5千円/kW 上限：9万円】
- ⑥事業用太陽光発電システム（事業者）【3万円/kW 上限：30万円】

! ゼロ予算 → 自立・分散型エネルギー事業の検討

自然環境の保護・保全の啓発 38万円

フナ林観察会：市内小学校4年生以上を対象に、春・秋の年2回、丹後学とも連携した森林保全の環境学習を実施

拡 海岸漂着物の対応 3,198万円

- ・海岸漂着物の回収及び処理（地区等に委託）
- ・中学生を対象に海岸清掃と環境学習を実施
- ・発生抑制対策として、環境保全ワークショップの開催、水をつなぐクリーン大作戦
- ・ボランティア清掃支援（回収漂着物の運搬）

拡 小・中学校の体育館照明のLED化 2億8,890万円（重掲）

- ・全中学校体育館LED化工事
- ・小学校体育館（久美浜小、高龍小、かぶと山）LED化設計業務

森林環境整備の促進 4,284万円

- ・森林環境整備 1,465万円
- ・森林環境整備促進対策事業補助金 2,432万円
- ・丹後王国「食のみやこ」森林環境整備工事 105万円
- ・経営管理森林整備工事 282万円



山陰近畿自動車道の早期実現！【1億1,285万円】

- 山陰近畿自動車道早期実現促進大会を開催【43万円】（秋頃予定）
- 山陰近畿自動車道の早期実現に向けた地籍調査を実施【1億 418万円】
網野町下岡から網野町木津区のエリアの測量等を実施

新 休憩施設整備に向けた検討 824万円

山陰近畿自動車道整備に伴う休憩施設整備に向けた企画調査



まちづくりランドデザインの推進

新 都市拠点の整備に向けた検討推進 1,171万円

しんざん小学校隣接エリアに公共施設の整備を進めるため検討会議を設置し、施設のコンセプトや機能・規模等を検討し、基本計画を策定

新 「（仮称）網野交流センター・交流広場」の整備に向けた検討推進（重掲）

網野庁舎跡地を活用した地域拠点の整備に向け、基本計画を策定

1,394万円

新 「宇川アクティブライフハウス」の改築に向けた検討推進 500万円（重掲）

地域のコミュニティ施設（宇川アクティブライフハウス）として利用している旧下宇川保育所について、地域振興の拠点施設として改築するための基本計画を策定

拡 庁舎等整備の推進 4億 280万円

市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟等の整備を推進

- | | |
|--|--|
| <p><実施設計>
峰山庁舎・大宮庁舎改修</p> <p><工事監理>
新防災倉庫建築、防災倉庫解体、
峰山総合福祉センター倉庫解体・駐車場整備</p> | <p><工事請負>
防災倉庫新築工事、既存防災倉庫解体工事、
峰山総合福祉センター倉庫解体工事
職員員駐車場整備工事
（旧吉原グラウンド、丹後文化会館駐車場）
峰山庁舎上下水道工事</p> |
|--|--|

! ゼロ予算 → 都市計画マスタープランの見直しに向けた準備とその推進
令和4年度策定の都市拠点構想を踏まえて、都市拠点周辺の都市計画マスタープランの見直し、検討に着手

歴史・文化に触れ、未来につなぐ

新 「京丹後市歴史文化物語」を発信 509万円 **DX**

地域計画に示した11のストーリーを紹介するデジタルマップを作成し、WEB上で地域文化財の周知及び関連文化財群の周遊を促進

新 「(仮称)京丹後市市民遺産会議」の設置 11万円

地域で大切にされている文化財に光をあて、保全・活用をはかる市民遺産制度の創設に向けて検討(委員7人、3回)

新 「文化芸術を楽しみ 人が輝く京丹後」を推進 488万円

- 落語会・落語ワークショップの開催(文化庁移転記念事業) 200万円
- 「(仮称)京丹後市文化芸術振興実践会議」の開催 58万円
- 「(仮称)京丹後アートフェスティバル」の開催 200万円
- 障害者等の文化芸術活動を推進する実行委員会を支援 30万円

文化財の保存の支援 250万円

市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、修理や保全に係る事業を支援
【対象】社寺・絵画・美術工芸品など

国史跡網野銚子山古墳の環境整備 5,287万円

墳丘部分の整理伐採、墳丘前方部を対象に墳丘復元・周溝表示工を中心とした環境整備を実施
(完成予定:令和6年度)

新 丹後震災記念館所蔵絵画の修復 164万円

伊藤快彦作の油絵3点(3か年事業の1年目)

※令和7年度までの債務負担行為額 279万円

郷土の“誇り”を持ち、心豊かなまちづくり

拡 野村克也メモリアル事業の実施 198万円

名誉市民である故野村克也氏の功績を称え、メモリアル事業を実施

- ・市内高校とのコラボ事業(次世代への伝承) 20万円
- ・野村克也杯学童野球大会 35万円
- ・講演会 102万円
- ・野村克也メモリアルプロジェクト委員会 13万円

拡 松本重太郎ギャラリーの運営 70万円

松本重太郎翁の生涯や功績を紹介するギャラリーを土日も開設(丹後地域公民館内)
・写真パネル(4点)、紙芝居映像を制作

新 「(仮称)ウェルビーイングサミットin京丹後」の開催 43万円

京丹後青年会議所等と連携してウェルビーイングサミットを開催(8月頃予定)
先進事例を学び合い、ウェルビーイングも本市の魅力としてシティプロモーションを実施

韓哲・まちづくり夢基金事業補助金 1,000万円

補助率:事業費の2/3以内(上限100万円/件)

SDGsとともに創生・発展するまちづくり

拡 丹後万博の開催を支援 300万円

「EXPO for SDGs」を掲げる2025年大阪・関西万博に向けて機運醸成を図るため、将来世代(高校生等)が中心となって企画・運営するSDGsの祭典「丹後万博」の開催を支援
※10月下旬開催予定

SDGsチャレンジ支援事業補助金 260万円

SDGsの達成に資する公益的な事業を行う地域活動団体、企業等を支援

- ・SDGsまちづくり協働型【補助率:2/3 上限:30万円】
- ・SDGs若者チャレンジ型(若者の取組を支援)
【補助率:10/10 上限:30万円】
- ・SDGs先導的モデル型(クラウドファンディングを活用した事業を支援)【上限:200万円】

**SDGsプラットフォーム(特設サイト)の運営 150万円**

市をはじめ、企業や団体等のSDGs関連情報を集約するプラットフォームとして特設サイトを運営し、市内外に本市の取組を発信

「若者発!SDGs共創プロジェクト」の実施 55万円

市内中高生等の若者が発案したアイデアを企業等と連携して実現に向け実施

大阪・関西万博などとの連携

拡 大阪・関西万博などとの連携を推進 508万円 (重掲)

- ◆オープンファクトリー環境整備を支援
工場などに観光客や視察などの受け入れを支援【補助率:1/2 上限:50万円】
- 新** ◆オープンファクトリー実施事業者を養成
大阪・関西万博に向けて、市内ものづくり事業者による満足度の高いオープンファクトリーが地域一体で実施されるよう、事業者の養成プログラムを実施
- 新** ◆「(仮称)京丹後市大阪・関西万博推進協議会」の設置
民間主導によるロードマップや具体的な取組に向けた計画を策定

! ゼロ予算 → **インバウンドを呼び込む「学べる観光プログラム・メニュー」づくりの検討**

ワールドマスターズゲームズ関西の推進 252万円 (重掲)

2027年(令和9年)5月に開催予定のワールドマスターズゲームズ関西(WMG)関連事業【WMG関連大会の概要】

- SUPジャパンオープン:4月15日・16日(予定)
- 全日本カヌーマラソン選手権大会:5月12日~14日(予定)
- 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会:8月6日(予定)

市役所業務・サービスの見直し・デジタル化

- 新** 証明書コンビニ交付を開始 830万円 **DX** (重掲)
マイナンバーカードを活用した証明書コンビニ交付システムを導入(12月開始予定)
〔予定業務〕住民票の写し、印鑑登録証明書
- 新** 新たな公共施設予約システムを導入 547万円 **DX** (重掲)
オンライン上で施設予約から決済まで可能なシステムを導入(稼働予定)
- 拡** オンライン申請システムの対象業務を拡充 297万円 **DX** (重掲)
現在の12業務→21業務まで対象を拡充
- オンライン相談システム(リモートコンシェルジュ) 22万円 **DX** (重掲)
地域(1か所・宇川地域)から、タッチパネルで担当課を呼び出し、申請書を画面共有しながら、記入方法などを相談(申請書は、その場で預けて市役所へ配送)
- 閉域モバイルの活用 194万円 **DX** (重掲)
閉域モバイル回線(20回線)利用料
- AI等を活用した業務効率化 441万円 **DX** (重掲)
現在活用しているRPAに加えて、AI-OCRを導入し、業務効率化に取り組む
※BPRに併せて、申請においてAI-OCRが活用可能な業務を洗い出し
- デジタル戦略の推進 613万円 **DX** (重掲)
包括連携協定を締結しているi情報経営イノベーション専門職大学の有する専門的知見に基づき、デジタル戦略を推進
【取組内容】業務改善、BPR計画化支援
- 新** オフィス環境整備(フリーアドレス等)の実証 2,149万円 **DX**
庁舎増築等に合わせて、フリーアドレス等の実証を行う。
- 拡** 庁舎の日直業務 701万円
閉庁日の各庁舎日直業務を会計年度任用職員1人と業務委託(1人)で対応
- 新** 土木技術職員等への修学資金貸与 180万円
修学資金貸付金 月額50千円×12月×3人
市役所に10年間勤務で全額返還免除
- 新** 職員政策提言プロジェクトを実施 37万円 **若手**
主に若手職員の部局横断的な政策提言。政策立案に向けた政策形成の考え方を研修

行財政改革の推進

第4次行財政改革推進計画の進捗管理 22万円

行財政改革推進委員会の開催(委員12人、4回開催予定)

市有財産の有効活用 313万円

- ・市有財産の利活用提案審査に係るアドバイザー費用(2人)
- ・旧浜詰小学校跡地など財産の測量、不動産鑑定を実施

! ゼロ予算 → 持続可能な行財政運営・基盤構築に向けた取組、検討推進

- ・次期行財政改革大綱に向けた準備
- ・未利用施設の有効活用に向けた手法の検討
- ・事務事業の見直し、検討
- ・過疎対策事業債などの有利な制度の拡充などを国へ要望 など

! ゼロ予算 → 市役所業務改善・働き方改革等に向けた取組、検討推進

事務事業の見直し

- 市長、副市長及び教育長の給料及び期末手当の減額
市長 ▲10% 副市長及び教育長 ▲5% (▲407万円)
- 廃止・抑制項目
31項目 (▲5,652万円)

財源確保の対策

- ふるさと納税10倍プロジェクトの推進
ふるさと納税(クラウドファンディングを含む)の積極的な活用や抜本的拡充を図り、自主財源を確保

目的別にみる主なまちづくり施策

【総務費】

夢まち創り大学の運営 1,183万円

地域と大学が連携・協働し地域課題の解決、活性化を図るための活動を支援

地域活動拠点(集会施設)整備を支援 1,013万円

〔修繕〕 峰山町、元町区、安区、二箇区、網野町仲禅寺区、掛津区
久美浜町栄町区、口馬地区、奥三谷区

広報紙を充実 1,835万円

・広報京丹後印刷 20,650部(28頁)年12回発行
・おしらせ版印刷 20,350部(12頁)年12回発行

新 特定小型原動機付自転車用ナンバープレートを作成 16万円

電動キックボード用のナンバープレートを作成

拡 ケーブルテレビ放送番組制作費 2,711万円

ケーブルテレビの自主番組制作と放送を委託

第2次総合計画の見直しに向けた準備 155万円

新たな総合計画の策定に向け、これからのまちづくりに対するニーズ、市政に対する満足度等を把握するため、市民を対象にした調査を実施するとともに、若者に選ばれるまちづくりに向けた基礎資料とするため、本市に住む若者向けのアンケートを実施

最高デジタル責任者(CDO)を任用 20万円 DX

市役所全体のデジタル戦略推進役(非常勤特別職)

【民生費】

生活保護費の給付 7億1,326万円

障害福祉サービスの給付等(障害福祉サービス事業) 17億7,002万円

障害福祉サービス介護給付・訓練等給付費、障害児支援費(児童発達支援・放課後等デイサービス)、計画相談支援費 など

地域生活支援事業 1億6,343万円 (重掲)

障害者相談支援、日常生活用具給付、障害児通学支援、地域活動支援センター事業、日中一時支援事業、福祉タクシー利用料・ガソリン費用助成 など

児童手当支給事業 6億3,660万円

児童扶養手当支給事業 1億7,506万円

健康と福祉のまちづくり審議会を設置 53万円

審議事項：第9期高齢者保健福祉計画(令和6～8年度)
第4次障害者福祉計画(令和6～11年度)
第7期障害福祉計画(令和6～8年度)

【衛生費】

総合検診事業 1億3,114万円

拡 海岸漂着物回収・処理事業 3,124万円

新 新最終処分場の整備 3億3,912万円 (重掲)

最終処分場造成工事、浸出水処理施設整備工事
※継続費設定：R5～R7 総事業費 75億4,640万円

拡 火葬場の管理運営 5,911万円

火葬場の管理運営を民間事業者へ委託

浄化槽設置整備費補助金 242万円

浄化槽設置整備事業の対象区域内で浄化槽を設置する方へ補助金を交付
【5人槽：39万円/基、7人槽：47万4千円/基、10人槽：66万円/基】

水洗化率向上に向けた支援 720万円

既存住宅の新規排水設備工事を行う方へ水洗化推進支援事業補助金を交付
【一般世帯：上限5万円、高齢者世帯：上限20万円】

し尿処理施設長寿命化事業 3,428万円

【農林水産業費】

「京の米」生産イノベーション事業補助金 3,852万円

事業主体：11事業者

スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金 2,574万円

事業主体：8事業者+1認定農業者(個人)

農業競争力強化基盤整備事業(府営ほ場整備) 6,313万円

・丹後町上宇川地区(平成29年度～令和6年度)
・久美浜町平田地区(令和2年度～令和7年度)
・丹後町徳光地区(換地等調整業務)
・久美浜町関地区(ほ場整備調査設計)

農業水路等長寿命化・防災減災事業 3,808万円

廃池計画策定
ハザードマップ作成
神崎地区用水施設機能保全計画策定

水産物供給基盤機能保全事業 2,000万円

・浅茂川漁港(B泊地)の浚渫工事を実施

目的別にみる主なまちづくり施策

【商工費】

小規模事業経営支援事業補助金 6,800万円

経営改善普及事業及び職員設置指導事業分、地域総合振興事業分

織物指導等小規模生産基盤整備事業補助金 900万円

織物調整指導費支援、織物小規模生産基盤整備支援

丹後地域地場産業振興センターの運営支援 4,506万円

丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発支援、人材育成、情報の収集及び発信などの各種事業並びに老朽化した施設の改修（トイレ改修など）を支援

金融支援事業 7,670万円

信用保証料補助金、経営力向上企業支援利子補給金、新型コロナウイルス感染症対策利子補給金、無利子・無担保融資対応利子補給金 など

創業等支援補助金 800万円

創業支援事業、空き店舗・空き工場等活用促進事業

観光等指定管理施設大規模改修 1億5,273万円

天女の里総合ターミナル空調機器取替
道の駅てんぎてんき丹後トイレ・休憩室改修
宇川温泉よし野の里あつ湯ろ過装置吸着砂交換 など

【土木費】

除雪対策(除雪経費、除雪機械等整備) 3億3,041万円

急傾斜地の崩壊を未然に防止 400万円

京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担
大宮町谷内地区（R元～R8年度）
丹後町谷地区（R5～R10年度）

内水処理対策事業 4,554万円

小栓川排水区整備（幹線管渠整備）

峰山途中ヶ丘公園東側駐車場整備 650万円

大型バスが駐車できる駐車場整備に向けた測量設計

住環境の整備 1億3,670万円

- ・市営住宅解体工事（松原団地3棟6戸）
- ・市営住宅芋野団地改修工事
- ・市営住宅周枳団地改修実施設計
- ・市営住宅用火災警報器取替

下水道事業会計繰出金 13億8,500万円

【消防費】

防災備蓄物資購入経費 963万円（重掲）

災害用備蓄資材等の購入、避難所用Wi-fiの整備、
プライベートルーム（80基）、屋外用テント（10基） など

消防団車両の更新 2,914万円（重掲）

- ・久美浜第4分団第1部（関）
- ・弥栄第3分団第2部（井辺）

消防車庫の整備等 230万円（重掲）

- ・網野第1分団第2部（掛津）

消火栓の新設・更新等 3,200万円（重掲）

- ・耐震性貯水槽新設工事 1基（弥栄町和田野地区）
- ・消火栓設置工事 15基
- ・消火栓ホース格納箱など消火栓備品更新

【教育費】

新 **次期教育振興計画を策定** 69万円

- ・R5～R6の2か年で策定

小・中学校のトイレ洋式化 8,650万円（重掲）

- ・丹後小、丹後中、久美浜中
- ・（設計のみ）峰山中、大宮中、網野中

拡 **小・中学校の体育館照明のLED化** 2億8,890万円（重掲）

- ・全6中学校
- ・（設計のみ）久美浜小、高龍小、かぶと山小

共同学校事務室を運営 436万円

学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化

スクールサポーターを配置 1億3,414万円

児童生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、
円滑な授業を実施するため、小学校・中学校にスクールサポーター等を配置

新 **第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直し** 23万円

計画期間（H30～R9）の中間評価及び計画の見直しを実施

DX・デジタル化への主な取組

- 新** 証明書コンビニ交付を開始 830万円 (重掲)
- 新** 新たな公共施設予約システムを導入 547万円 (重掲)
- 拡** オンライン申請システムの対象業務を拡充 297万円 (重掲)
- リモート相談システム(リモートコンシェルジュ)を設置 22万円 (重掲)
- AI等(RPA・AI-OCR)を活用した業務効率化 441万円 (重掲)
- 閉域モバイルの活用 194万円 (重掲)
- デジタル戦略の推進 613万円 (重掲)
- 新** 人事情報システムの導入 469万円
人事評価情報や職務経歴を一元管理するシステムを導入
- 生活保護訪問支援システムの活用 123万円
ケースワーカーの訪問活動にタブレット端末を活用
- 拡** 京丹後デジタルポイントによる消費・生活支援 1,000万円 (重掲)
- デジタルデバйд対策 33万円
初心者向けスマホ教室の開催
- ふるさとテレワーク推進事業補助金 198万円 (重掲)
- 海水浴場混雑表示システムの導入 74万円 (重掲)
- ICT教育の充実 605万円 (重掲)
 - AIによる英語力向上アプリの導入(中学校1~3年生)
 - オンライン留学
 - プログラミング教育
- ICT支援員の配置 1,052万円 (重掲)
- LINEを活用したこども相談窓口の整備 158万円
- 新** 中学校テスト採点補助システムの導入 33万円 (重掲)
- 新** 「京丹後市歴史文化物語」を発信 509万円(重掲)

ゼロ予算事業

- 子育て応援サイト、子ども向け体験事業を充実** 【市長公室・教育委員会】**若手**
 - ・サイト掲載情報、イベントカレンダーの充実など
 - ・子ども向け体験事業の現状・ニーズ把握、課題の検討
- 自立・分散型エネルギー事業を検討** 【市民環境部】
自家消費、地域循環型のエネルギー利用、PPA手法、災害時における地域のレジリエンス強化等と地域の脱炭素化を実現するとともに、地域を裨益(ひえき)する事業を検討
- 京丹後市オーナー田制度を試行的実施** 【農林水産部】
京丹後市内の水田を耕作意欲のある都市住民にオーナーになってもらい、農作業を通じて、都市農村交流を図る
- 京丹後デジタルポイントの利活用拡大を検討** 【商工観光部】
京丹後デジタルポイントと民間発行ポイントとの相互連携、公共施設使用料など各種公共料金への利用について検討
- Well-being 職員のコミュニケーションを活性化** 【市長公室】**若手**
研修、会議前のアイスブレイクを推奨
- 産業連関表を作成** 【商工観光部】
福知山公立大学と協力し、京丹後市産業連関表の作成
- 浅茂川温泉施設の活用を検討** 【商工観光部】
浅茂川温泉「静の里」の今後の活用を検討
- 地区要望事業の実施促進策を検討** 【建設部】
要望が特に多い道路事業を中心に、地区要望の取り方・返し方等も含め、区長会と連携して事業実施促進策を検討
- 都市計画マスタープランの見直しに向けた準備とその推進** 【建設部】
令和4年度策定の都市拠点構想を踏まえて、都市拠点周辺の都市計画マスタープランの見直し、検討に着手
- 空家の放置解消に向け固定資産税の減免制度を検討** 【建設部】
空家を除去することで、その跡地の活用を促進し居住環境の整備・地域の振興を図るため、除去後の土地に係る固定資産税の減免を検討
- インボイス制度スタートに向けて事業者を支援** 【商工観光部】
京丹後市商工会が実施するセミナーを支援
- インバウンドを呼び込む「学べる観光プログラム・メニュー」づくりの検討** 【商工観光部】
京丹後市の歴史・文化・産業・環境・SDGsなど、広く市内の資源を活用
- 奨学金返還制度の普及・促進事業の実施** 【教育委員会】
様々な分野のシティプロモーション事業等と連携して、広く制度を周知・普及
- プログラミング教育の継続実践** 【教育委員会】
I情報経営イノベーション専門職大学と連携し、令和4年度に中学生を対象に実施したプログラミング教育を継続実践
- 持続可能な行財政運営に向けた取組、検討** 【総務部】
 - ・次期行財政改革大綱に向けた準備
 - ・未利用施設の有効活用に向けた手法の検討
 - ・事務事業の見直し、検討
 - ・過疎対策事業債などの有利な制度の拡充などを国へ要望 など
- 市役所業務改善・働き方改革等に向けた取組、検討推進** 【市長公室】

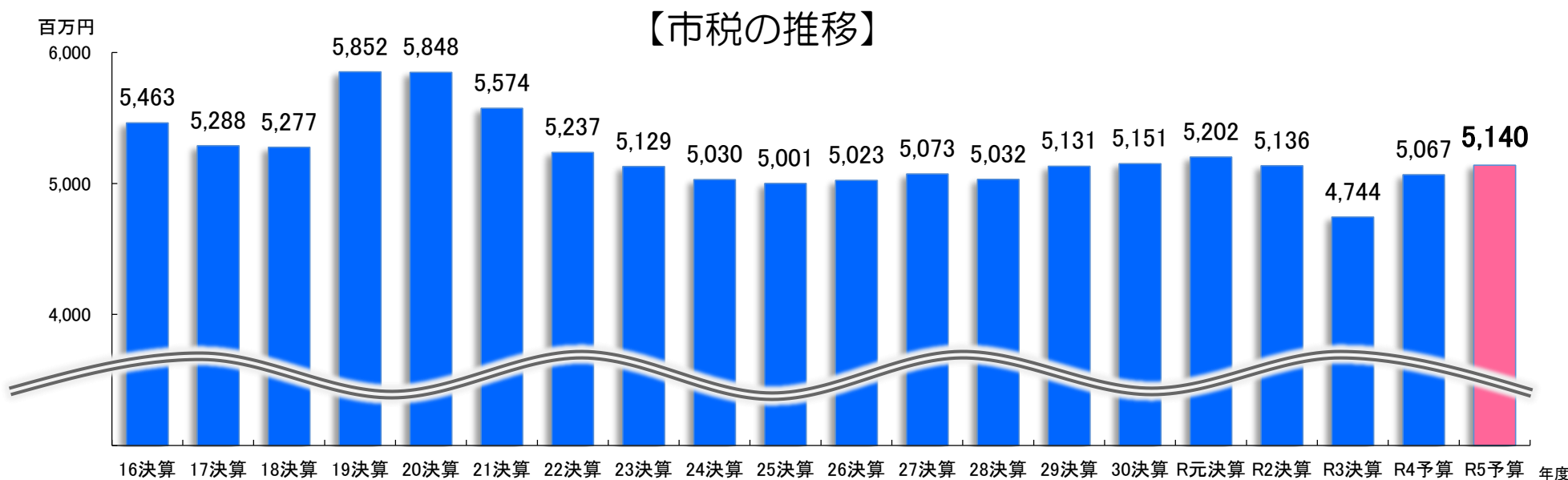


市税の状況

令和5年度 市税総額 **51億3,957万円** (前年度:50億6,688万円)

対前年度 **7,269万円(1.4%)**

・個人市民税	19億7,333万円	(R4 19億2,708万円)	対前年度	4,625万円 (2.4%)
・法人市民税	2億1,833万円	(R4 2億2,740万円)	対前年度	△907万円 (△4.0%)
・固定資産税	23億8,096万円	(R4 23億5,237万円)	対前年度	2,859万円 (1.2%)
・入湯税	4,519万円	(R4 4,424万円)	対前年度	95万円 (2.1%)





基金の状況

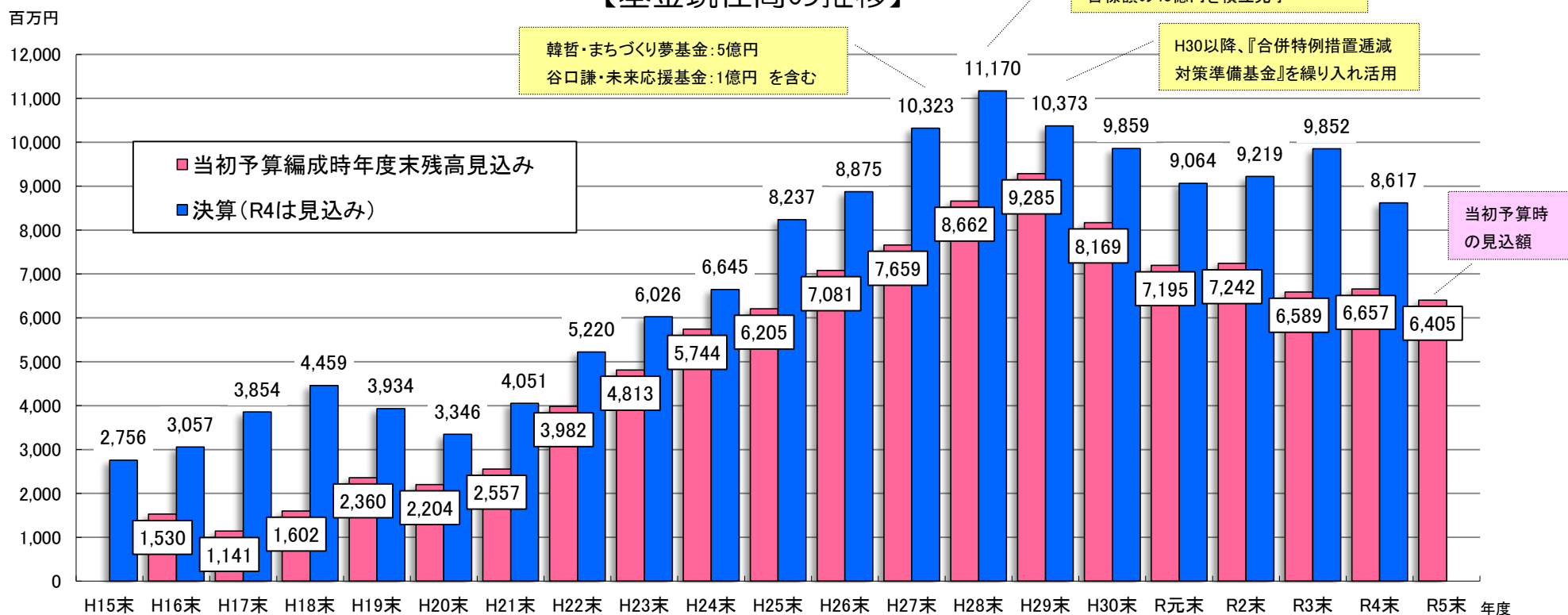
令和5年度末基金現在高見込み

64億 456万円

 (対令和4年度末見込み: $\Delta 22$ 億1,194万円 $\Delta 25.7\%$)

平成30年度からは合併特例措置逓減対策準備基金(注)を活用していることから、現在高は減少傾向(予定込み)。こうした中、令和5年度でも、財政調整基金から13.4億円、合併特例措置逓減対策準備基金から5億円、ふるさと応援基金から10.5億円などを繰り入れ、財源確保するとともに、ふるさと納税の推進により現在高を確保・維持。

【基金現在高の推移】



(注) 合併特例措置逓減対策準備基金は、普通交付金などの合併特例措置が平成27年度以降の急激な減少に備え平成22年に創設。平成28年度には目標としていた約40億円を積み立て、平成30年度から令和7年度までの期間で活用(取り崩し)するとしていた基金。

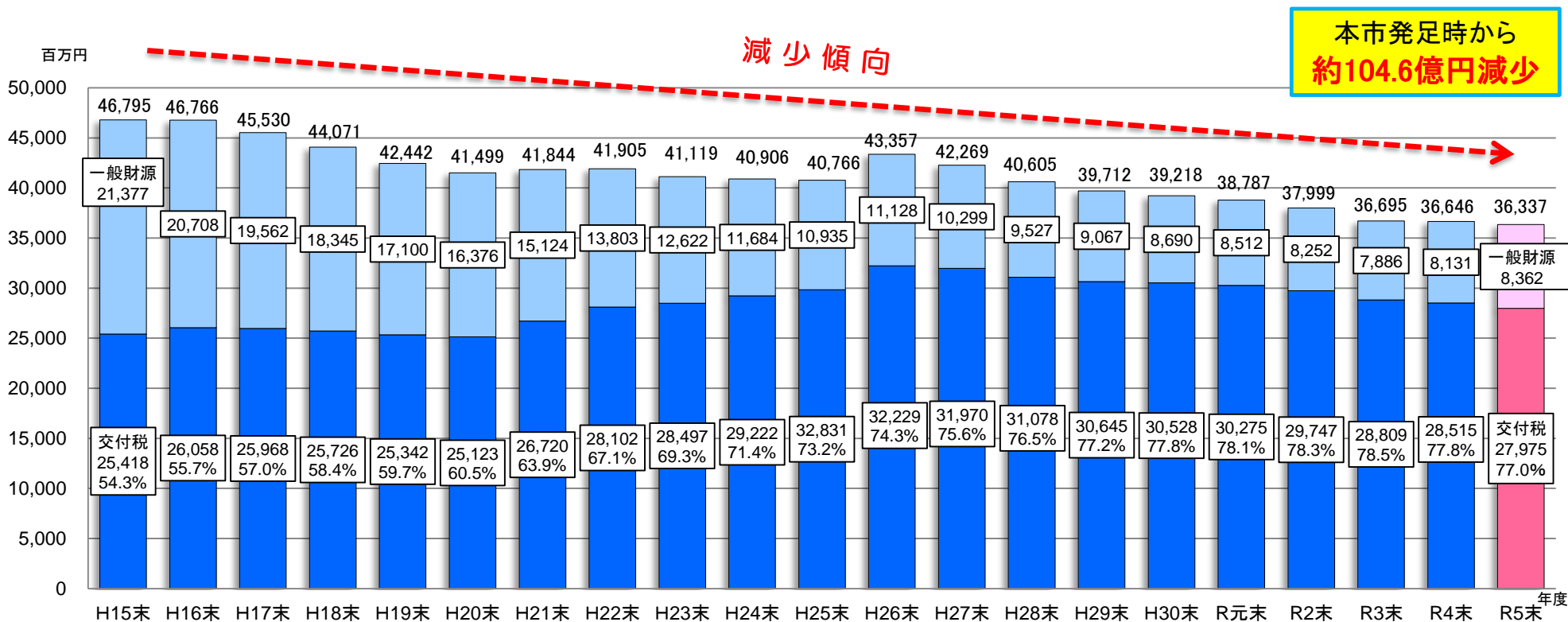


市債現在高の状況

令和5年度末市債現在高見込み

363億3,675万円 (対令和4年度末見込み: △3億 940万円 △0.8%)

大型事業に取り組んでいく必要がある中、市債現在高には中長期的に留意していく必要があるとともに、引き続き、交付税措置がある有利な市債の活用を努め、市の実質的な負担分の軽減に努めていく。



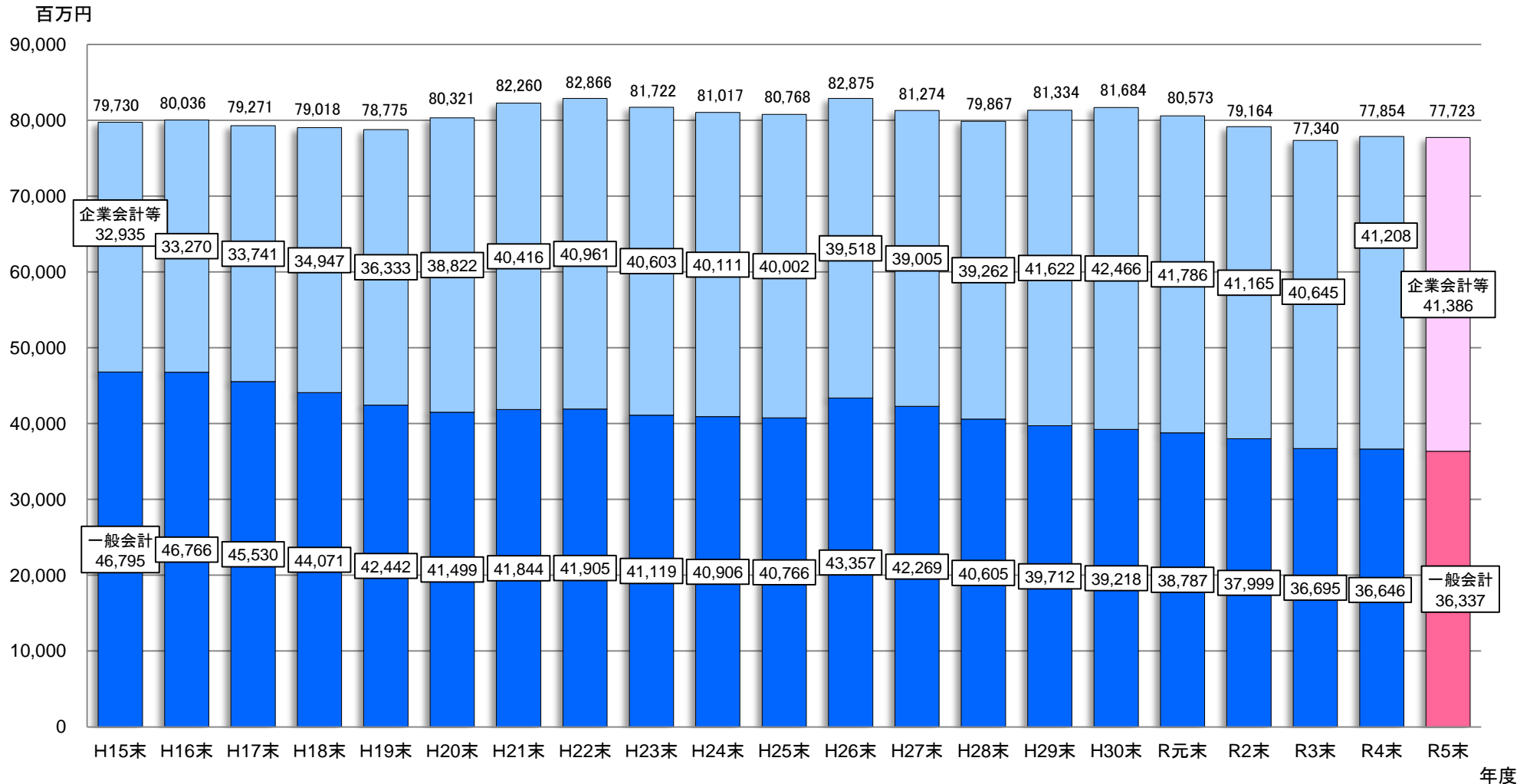
※交付税は、各区分の地方債残高に対する地方交付税算入率を乗じて理論的に算出したもの。R3年度以前の現在高は決算額、R4・R5は見込額



〈参考〉全会計市債現在高の推移

令和5年度末市債現在高見込み 777億2,290万円

(対令和4年度末見込み: Δ 1億3,076万円 Δ 0.2%)



※R3年度以前の現在高は決算額、R4・R5年度は見込額



〈参考〉全会計予算規模

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減 額	増減率
一般会計	373億6,000万円	356億3,000万円	17億3,000万円	4.9%
特別会計	148億 330万円 (10会計)	148億8,430万円	△8,100万円	△0.5%
企業会計	181億9,756万円 (3会計)	171億7,868万円	10億1,888万円	5.9%
合 計	703億6,086万円	676億9,298万円	26億6,788万円	3.9%



〈参考〉全会計の予算規模推移

令和5年度全会計予算規模 703億6,086万円

(前年度比:26億6,788万円 3.9%の増)

